

カタルーニャ州政府は最初の段階から戦略を練っていた。奇妙な言い方になるが、カタルーニャ州政府の戦略は「住民投票自体には、さして重きを置かない」ことだった。はたして、投票箱は投票所に設置できて、投票行動は保障されるのか。中央政府が投票阻止のために全国各地から約1万人もの警察官や憲兵を投入する中で、住民は投票に行けるのか。でも、それらのことは、じつはどうでもよかった。

警察と大衆の対立よりも、「物語が生まれないこと」の方が問題

多数の警官が動員される、動員された警察が投票箱を押収する、あるいは警察が投票所に突入し住民たちともみあいになる、警官隊と大衆がにらみ合う、開票方法の公正さについて疑問符がつけられる……。それらのことはすべて想定済みだった。カタルーニャ州政府にとってはなんら問題のないことだった。

——いや、率直に言えば、カタルーニャ州政府の思惑は逆なのである。彼らにとっての失態とは、投票所に長い列ができないこと、警察が出動しないこと、“語るべきストーリーが生まれないこと”だった。

急進的カタルーニャ独立主義者たちにとって重要だったのは、この日に繰り上げられた出来事の映像が国際社会に広まることだけだった。そして、それ以外のことは、端的に言って大勢に影響のないことだった。数カ月にもわたり、カタルーニャ州政府によって練り上げられた戦略を前にして、スペイン政府は端役に過ぎなかった。

次ページ 「カタルーニャ州政府の筋書き通りに物語は進んだ」

- 1
- 2
- 3
- >

コメント3件

メールで送る

印刷

保存

Evernote

f

twitter

...

「1分で読める経営理論」のバックナンバー



2017年10月23日
カタルーニャに思う「ポスト真実」の時代の真実



2017年6月28日
日本型経営の記憶、そして再評価への期待



2017年8月29日
新たな情報を貪り続ける自分にストップを



2017年5月2日
110歳超のスーパーセンテナリアンってどんな人

> 一覧

略と従業員体験の関係性

Tealium Japan
ANAがリアルタイムのネットマーケティングを実現できた理由

パナソニック
【日経BP読者アンケート】いま求められる家電の姿

> ビジネストレンドー覧

記事を探す

企業名・キーワードで検索

人気のキーワード

#サイバーセキュリティ

#デモ

#満員電車

#DeNA

#ブーチン

日経ビジネス 日経ビジネス10月23日号



【特集】ビジネスパーソンに聞く 後悔しない航空&ホテル

5000人満足度ランキング

> 雑誌の内容をWebで

> 定期購読

> 日経ビジネスの書籍・ムックー覧

> 日経ビジネスのセミナーー覧

日経ビジネス スマホアプリに関する重要なお知らせ

FUTURE MOBILITY SUMMIT TOKYO 2017 東京モーターショー2017公式併催イベント

日経ビジネス アカデミックサポートプログラム

| 「カタルーニャに思う「ポスト真実」の時代の真実」の著者



エンリケダンス（えんりけ・だんす）

スペインIEビジネススクール教授

IEビジネススクールでMBA取得。米UCLA 情報システム学部で学び博士号取得後、ハーバードビジネススクールで学ぶ。労働者や企業、社会に対しての技術革新の影響についての研究を深めている。

※このプロフィールは、著者が日経ビジネスオンラインに記事を最後に執筆した時点のもので

す。

▶ この著者の記事をもっと見る

日経ビジネスオンラインのトップページへ

記事のレビュー・コメント

投稿機能は会員の方のみご利用いただけます

無料会員登録 | 会員機能の詳細 | ログイン

レビューを投稿する

この記事は参考になりましたか？

- ☐ とても参考になった
- ☐ まあ参考になった
- ☐ 参考にならなかった

この記事をお勧めしますか？

- ☐ ぜひ読むべき
- ☐ 読んだほうがよい
- ☐ どちらでもよい

送信

読者レビューを見る

コメントを書く

コメント入力

コメント (3件)
を読む

| ビジネストレンド

PR

アドウェイズ

eコマース市場で競合に差をつけるEC販売データの活用法

NTTレゾナント

AI技術で実現、顧客を離脱させないサイト内検索の実装方法

カゴメ

今、肝臓ケアで注目されるスルフォラファンとは？

ヒロセ電機

社内外の英知を集め、顧客の要望に応え続ける企業とは